

社会資本総合整備計画(事後評価)

秋田市宅地耐震化推進事業(防災・安全)

令和 2年 4月
秋田県 秋田市

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	秋田市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成31年度（2年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	秋田市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模盛土造成地の把握及び大規模盛土造成地に係るハザードマップの作成及び公表を行うことにより、市民の防災意識の高揚を図る。 ・第二次スクリーニング計画を作成し抽出した大規模盛土造成地の危険度調査を行うことにより、宅地耐震化推進事業の効率的な推進を図る。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	9	A	9	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H30末	H31末
1	大規模盛土造成地の把握及び大規模盛土造成地マップ作成・公表 第一次スクリーニングの結果の公表率	0%	100%	100%
2	二次調査の必要性および調査の優先度の設定 第二次スクリーニング計画作成	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	秋田市	直接	秋田市	—	—	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第一次スクリーニング、マッ プ作成、第二次スクリーニン グ計画作成	秋田市	■	■				9		—	
												小計						9		
											合計						9			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

本市で評価を行い、達成状況等を確認した。

事後評価の実施時期

令和2年4月

公表の方法

秋田市ホームページに掲載する。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・秋田市大規模盛土造成地マップの作成及び公表を行うことにより、市民の防災意識の高揚が図られた。
- ・大規模盛土造成地の危険度調査を行うことにより、将来的に地盤調査が必要と考えられる大規模盛土造成地の選定が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・秋田市大規模盛土造成地マップについて、随時、最新情報に内容を更新する。
- ・二次調査対象箇所について、国が示す新たな基準に基づき、更なる絞り込みを行う。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	第一次スクリーニング結果の公表	
	最終目標値	100%
2	最終実績値	100%
	第二次スクリーニング計画作成	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%